

受注企業動向調査結果

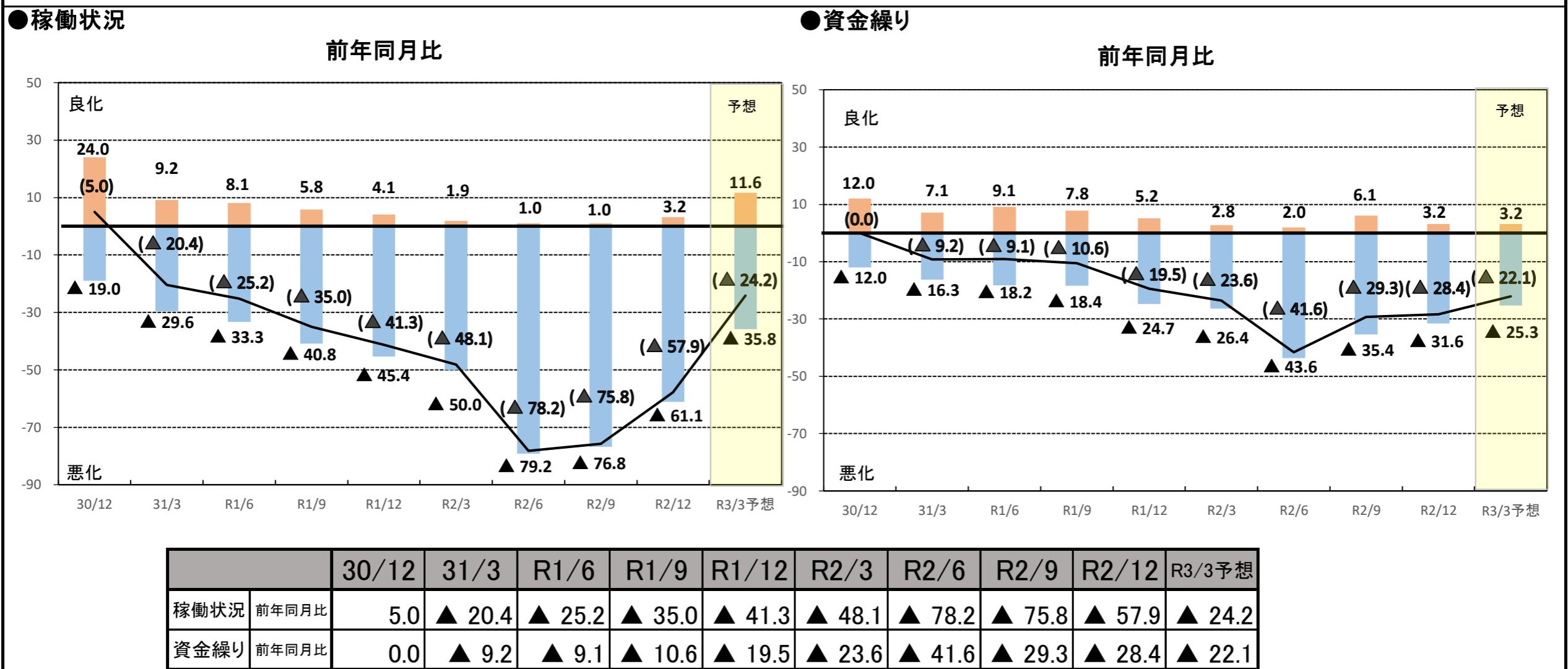
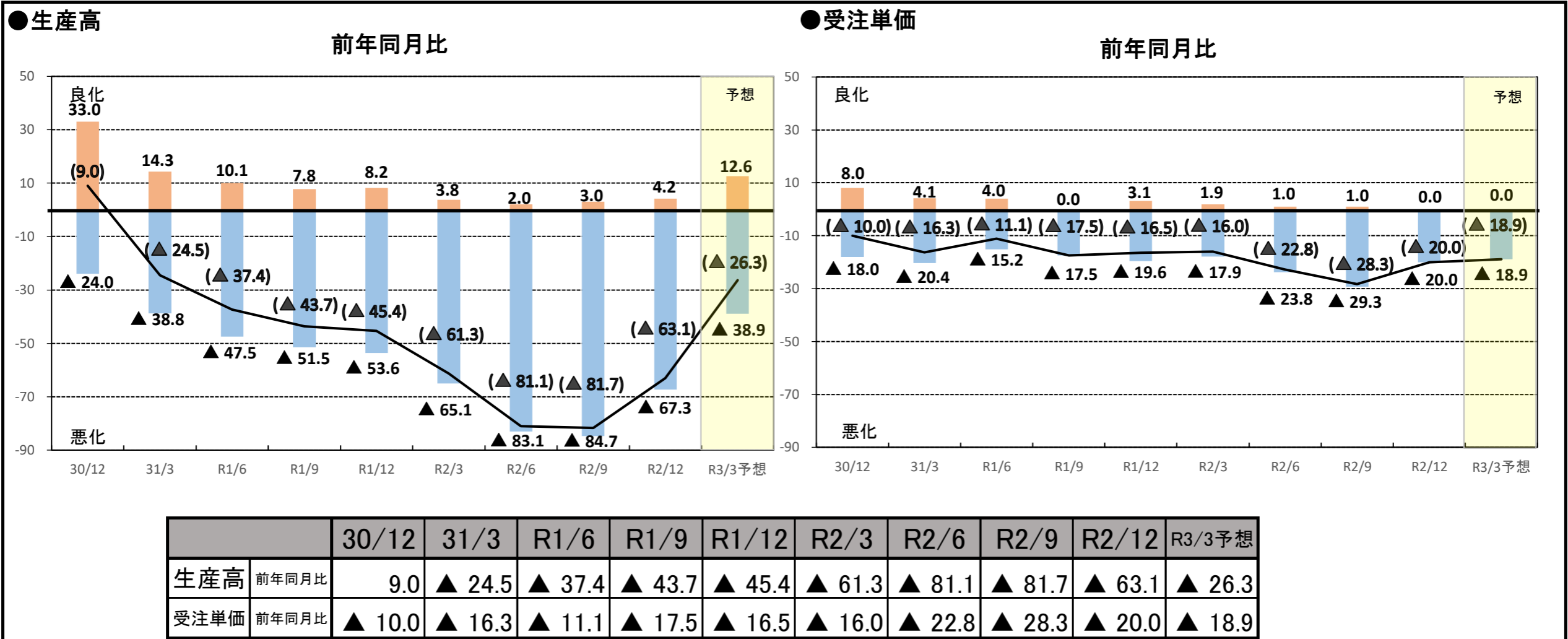
-2021.01-

- 調査時点 令和2年12月調査(令和2年12月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 95社(回答率:63.33%)

<業種内訳>

プラスチック	8社
鉄鋼・非鉄	6社
金属製品	20社
一般機械器具	19社
電気機器	20社
輸送用機器	7社
精密機器	11社
縫製	4社
計	95社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは▲63.1で前回の▲81.7から18.6ポイント増の改善となった。
- ・受注単価(前年同月比)DIは▲20.0で前回の▲28.3から8.3ポイント増の改善となった。
- ・稼働状況(前年同月比)DIは▲57.9で前回の▲75.8から17.9ポイント増の改善となった。
- ・資金繰り(前年同月比)DIは▲28.4で前回の▲29.3から0.9ポイント増の改善となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲26.3で36.8ポイント増の改善、受注単価は▲18.9で1.1ポイント増の改善、稼働状況が▲24.2で33.7ポイント増の改善、資金繰りは▲22.1で6.3ポイント増の改善という予想になった。
- ・その他自由意見として、現在は先を読むことは困難である。新型コロナの感染状況によって業況が大きく左右される。生産調整により、受注が減少している。また一部では、徐々に改善されてきているが、増加した借入金返済もあることから楽観視できない。新規取引先の受注拡大により落ち込みをカバーできたという意見が寄せられた。